

新型コロナウイルス問題で保健所に申し入れ

市内の小中高校、特別支援学校が「一律休校」になり、不安と切実な声が寄せられています。そこで、共産党市議団は市役所で聞き取り調査をしました。3月2日時点の「市の考え」をお知らせします。

保護者や市民から市議団への「問い合わせ」は、以下の通りです。

「3月24日に予定している修了式は実施するの?」「中学生1・2年生の学年末テストと評価は?」「3月4日まで閉所している児童館はどうなるの?子どもを見る家族がいないの?」「安倍首相は児童館を開くと言うけど、鉚路市は職員が欠員です。大丈夫?」等々。

卒業式は規模を小さくして実施することは決めているようです。しかし、小中学校の修了式は「まだ、はっきりしていません」。また、学年末テストは実施しない。児童館は、午前中から開所しますが、放課後児童クラブ登録者だけです。登録していない児童は利用できないことや「利用の自粛を求める」ようです。体制は、OBや短大の学生に支援をお願いします。特別支援の子どもたちは、放課後デイサービスを利用します。



**新型コロナウイルスのために
議会質問の日程が大幅に変わりました**

代表質問が3月6日から3月10日(火)に変わりました

時間 13時ころ 日本共産党代表質問

全校休業で「修了式は?」「児童館は?」の問い合わせ →教育委員会子ども保健部に聞き取り調査

市内の小中高校、特別支援学校が「一律休校」になり、不安と切実な声が寄せられています。そこで、共産党市議団は市役所で聞き取り調査をしました。3月2日時点の「市の考え」をお知らせします。

児童館では、昼に熱を測りますが、もし、37.5度の児童がいたら、どうするのでしようか?市は「工夫します」と言いますが、心配です。

保護者や市民から市議団への「問い合わせ」は、以下の通りです。

「3月24日に予定している修了式は実施するの?」「中学生1・2年生の学年末テストと評価は?」「3月4日まで閉所している児童館はどうなるの?子どもを見る家族がいないの?」「安倍首相は児童館を開くと言うけど、鉚路市は職員が欠員です。大丈夫?」等々。

聞き取りの中で「登校日を設定すること」「子どもの貧困対策として学校給食を実施すること」等を提案しました。しかし、児童生徒への具体的な対応は「これから」という状態です。十分な対応を検討せずに、一方的に示す国の方針に「現場」は振りまわされていきます。

卒業式は規模を小さくして実施することは決めているようです。しかし、小中学校の修了式は「まだ、はっきりしていません」。また、学年末テストは実施しない。児童館は、午前中から開所しますが、放課後児童クラブ登録者だけです。登録していない児童は利用できないことや「利用の自粛を求める」ようです。体制は、OBや短大の学生に支援をお願いします。特別支援の子どもたちは、放課後デイサービスを利用します。

3月9日(月) 鉚路市議会
は再開します。10日(火)
村上議員が代表質問、12日
(木)からは委員会審議も始
まります。子どもと保護者の
目線から質問・提言します。



右から梅津・村上・西村・工藤の各市議。左端は申し入れ書を受け取る高垣鉚路保健所長。

日本共産党鉚路市議団(村上和繁、梅津則行、工藤正志、西村雅人議員)は、2月26日、鉚路保健所に「新型コロナウイルスに関する緊急申し入れ」を行いました。申し入れの主な内容は、①早急な検査体制の充実、②感染病床をはじめとした治療体制の確保、③医療従事者の感染防止策などです。特に鉚路市内では検査ができず、検体を札幌に郵送している問題は重大で、鉚路市内での検査実施が急がれます。また市立鉚路総合病院の感染病床は4床しかないことも問題です。

対応した高垣正計・鉚路総合振興局保健環境部長(鉚路保健所長)は、「申し入れの趣旨は理解しました。感染源が特定できない人の感染が進んでいることも把握しています。今後は検査体制を充実・拡大する方針です。」と述べ、早急に対応する姿勢を示しました。

◆市議会・本会議での一般質問はすべて中止です◆

梅津則行、工藤正志、西村雅人の各議員は、それぞれの委員会で今回の新型コロナウイルスの問題はもちろんのこと、市民要望の実現のため、積極的に論戦します。

